

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公表番号】特表 2006-507270 (P2006-507270A)

【公表日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報 2006-009

【出願番号】特願 2004-545186 (P2004-545186)

【国際特許分類】

C 0 7 K 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 7/04 Z N A

A 6 1 P 1/02

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 21 日 (2005.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

微生物感染抑制作用を有するアミノ酸配列 L K K T E T またはその保存的変異型を含む微生物感染抑制ポリペプチドを含む、微生物感染症の治療用の医薬組成物。

【請求項 2】

前記ポリペプチドは、サイモシン 4 (T 4)、T 4 の N 末端変異型、T 4 の C 末端変異型、T 4 のアイソフォーム、酸化 T 4、または T 4 スルホキシドを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

全身投与されるものである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

局所投与されるものである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

経腸投与されるものである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記微生物感染症は細菌感染症である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記微生物感染症は炭疽菌感染症である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記微生物感染症は胃腸感染症である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

胃腸疾患抑制作用を有するアミノ酸配列 L K K T E T またはその保存的変異型を含む胃腸疾患抑制ポリペプチドを含む、胃腸疾患の治療用の医薬組成物。

【請求項 10】

前記胃腸疾患は、感染、擦傷、炎症、アレルギー、免疫疾患、または遺伝的異常に関連する、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記胃腸疾患はクローン病である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記胃腸疾患は潰瘍性大腸炎である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記胃腸疾患は再発性アクタ性口内炎である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 14】

微生物感染抑制作用を有するアミノ酸配列 L K K T E T またはその保存的変異型を含む、微生物感染症の治療用薬剤の製造に使用される物質。

【請求項 15】

胃腸疾患抑制作用を有するアミノ酸配列 L K K T E T またはその保存的変異型を含む、胃腸疾患の治療用薬剤の製造に使用される物質。